

「日本縦断」への思い

町田 正

今、「日本縦断への思い」を書こうとしています。書きながら「どうしようか」と迷っています。すごい不安があります。体のこと・走力のこと、日本縦断までに間に合うのか？しかし躊躇しても前に進みません。

ウルトラマラソンからジャーニランを始めて、いつの頃からか「日本縦断」をしてみたいと思うようになりました。

3年前「日本縦断」を始めるにあたり、数年かけて日本全国をジャーニランで走るつもりで軽量の寝袋も買いました。

日本のいろいろな所を見てみたい。日本の旧道も走り・歩きたい。これからの人生で大きな目標が出ました。

そんな時、森塚さんの「日本縦断」を雲峰さんのHPで知りました。

2013年、私の「定年退職」の年、46年務めた仕事も卒業してフリーになります。何回か分けて走るつもりだった「日本縦断」を北海道から鹿児島まで走る、私の長年の夢が叶えられる。しかし、一度に全部走ることにとても不安がありました。

2000年、北海道トランス・エズでアルメティを走ったけれど足の指の皮が破れ半分しか走れませんでした。体力も走力も・・・考えだしたら不安がつぎつぎでできます。

でも、夢を実現したい一心で森塚さんに連絡を取りました。

森塚さんに「日本縦断」の参加をお願いして間もなくの事、ちょうど東北縦断の試走会の案内をもらった時、会社の健康診断で胃がんが見つかりました。

目の前が真っ暗になりました。癌の兆候は一切ありませんでしたから。

これで自分の夢がおわりになるのか。絶望しました。

5月末退院してから森塚さんに連絡をとり事情を話した上で参加出来ない事を伝えました。

8月東北縦断の「かわら版」「地図」を読んでいると、なんとしても参加したい気持ちが強くなってきました。

三ヶ月過ぎて幸い経過も良い、開催までにはまだ時間がある。もしかしたら参加できるかもしれない・・・そんな思いが強くなってきました。

一度諦めた大会ですが、自分の夢を実現するため諦めず「日本縦断」の開催までに参加できるように体力・走力を回復させよう。

幸いにして助かった命、これからの人生を大切に、走り・歩きををを楽しみたいと思っています。

できれば最後の試走会は「お正月」を外した期間の開催を希望します。